

空港ターミナルビルのリニューアルが始まります!!

今年度は、昭和62年7月に都営新島空港として開港してからちょうど20年目の年に当たります。20年に渡る月日の中で、建物に劣化が進み、クラックからの雨漏りや塗装のはがれ等の傷みが目立つようになりました。また、安全対策も開港当初と比べ厳しいものとなっており、現在の設備では対応しづらくなっていました。そこで、傷んだ箇所の補修や設備の改修などの工事が行われることとなりました。

外壁の塗装

クラック補修の後、塗装を行い、かつての美しさを取り戻します。



喫煙スペースの設置

空港ターミナルビルを禁煙区画とし、喫煙は新たに設置する喫煙所内で行っていただきます。

搭乗口の扉の設置

これまで、出発ゲートラウンジの入り口はロープで仕切られていただけでしたが、安全対策のため、扉を設置することとなりました。それにより、ボディチェックを終えたお客様と未了のお客様を明確に分け、凶器所持者やテロリストの侵入を未然に防ぐことができます。

小型機利用者の通路の設置

小型機(プライベート機)利用者用の通路を設置します。事務所での手続き終了後、通路をとおりターミナルへ直接出ることができるようになります。

工事期間中は、空港利用者の方には大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご協力いただけますようお願いいたします。



新島港日除け雨除け施設の整備

新島の玄関口にあたる新島港では、船を待っている間、夏の日差しや風雨を避けられるよう、平成18年9月中旬から2ヵ年かけて日除け雨除け施設を整備しています。

施設の全長は213mで、平成18年度末には155m完成し、暫定的に供用開始する予定です。また、平成19年度は、残りの58mを整備する予定です。

柱や屋根は濃い青色、壁は薄い青色(水色っぽい色)で塗装します。

完成すると、港のイメージも一新されて「新しいシンボル」になることでしょう。



現在、工事のため、駐車場や歩行者通路等を利用する皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、整備が完了することに併せて、駐車場も大きく変わり、出入口と使用方法も変更する予定です。

滅多に見られない光景

新島において、年に何度みられるかという光景を見ることができました。

この日は海象状況が悪く、新島港、若郷漁港の両港にJF船が接岸できず、羽伏漁港に接岸したものです。

